



あらゆる賞賛は、アッラーのもの。アッラーは、比べ得る何のものもない唯一者であられる。私は、アッラーの外に崇拝する存在はないことを証言し、また、ムハムマドは、アッラーの使徒であることを証言する。

信者たちよ。アッラーは、クルアーン・消息章及びマルヤム章において述べておられる。

「誠に、敬虔な者たちには、勝利の場所（楽園）がある。」(78章 31節)

「これが楽園である。わがしもべの中の敬虔な者たちに継がせる。」(19章 63節)

我々信者は、敬虔でありたいものである。敬虔であることが、楽園へ入れて頂ける道だからである。アブー・フライハは、伝えている。預言者さま SAW は次のように述べられた。「アッラーは、言われた。『われは、敬虔なしもべのために、かつて、誰も見たこともなく、聞いたこともなく、また、人の心が思いもつかなかったものを天国に用意している。』と。」

信者たちよ。誠に、アッラーは、信仰する者たちへの指針となるものであり、吉報であるクルアーンを下された。その神聖な書について、アッラーは、クルアーン・蟻章において述べておられる。

「信者たちへの導きであり、吉報である。」(27章 2節)

クルアーンそれ自体、信者に対する大きな報奨についての知らせでもある。

アッラーは、クルアーン・夜の旅章において述べておられる。

「誠に、このクルアーンは、正しい導き（イスラームの教え）であり、良い行いをする信者には、すばらしい報奨が授けられるとの吉報を告げている。」(17章 9節)

即ち、アッラーは、審判の日には信仰篤い者たちを天と地を合わせた程の広さがある楽園に入るという栄誉を御与え下されることだろう。まさしく、楽園の扉が開かれて信仰篤い者たちは、楽園の天使に迎えられる。信仰篤い者たちは、喜びに溢れ、顔を輝かせて楽園に足を踏み入れる。そこが約束されたままに満たされた所であることを知るようになるのである。アッラーは、クルアーン・悔悟章において述べておられる。

「アッラーは、男の信者たちにも女の信者たちにも、永遠に留まることとなる、川が下を流れる楽園を約束された。また、永遠の園〔アドン〕の中の立派な館をも（約束された）。そして、アッラーの御満悦こそ、最も大きい（享楽である）。それを得ること、そのことを勝利すると言うのである。」(9章 72節)

楽園の住人たちは、アッラーが思い描かれた通りの善行に励み敬虔に振舞った者たちである。

アッラーは、クルアーン・イムラーン家章において述べておられる。

「主よ。私たちは、本当に信じます。それで、私たちの罪を赦し、業火の懲罰から御救い下さい。」と（祈って）言う。「よく耐え忍び、正直で、良く教えを守り、（施しの為に）きちんと支払い、また、夜が明けの前に（罪の）赦しを願う者たちである。」(3章 16—17節)

住人たちは、言葉が美しく、立ち居振る舞いが褒めるに値する者たちである。現世で敬虔であった者たちへの吉報とはこれであり、主が御約束なされた楽園を勝ち取った者たちである。

アッラーは、クルアーン・集団章において述べておられる。

「彼ら（敬虔な信者たち）は、言う。『御約束を実現下され、私たちに大地を継がせて下された御方（アッラー）に称賛あれ。私たちは、楽園の中で望む所にいることが出来ます。（アッラーの教えを守り）善行に努めた者たちへの報奨は、何と素晴らしいものであることか。』」(39章 74節)



預言者ムハムマド、教友とその一家に祝福と平安がありますように。そして、正当なカリフ、アブーバクル師、ウマール師、ウスマーン師、アリー師と、正しい道に従う者たちに、祝福と平安がありますように。

アッラーよ。敬虔な者であり、樂園に入れて頂ける者であるように導き下さい。

アッラーよ。あなたさまを愛し、預言者さま SAW を愛する者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。何時でもあなたさまを顧みて感謝し、満足を知る者であるように、御導き下さい。

アッラーよ。正しい道を歩む忍耐強い者であるように、御加護下さい。

アッラーよ。私たちの信仰心を強くして下さい。私たちの過ちを御赦し下さい。

アッラーよ。日々の生活に活力と喜びを、そして安心と安全を御与え下さい。アーミーーン